



ゆうあい

校長ブログ→



学校教育目標：『在りたい自分を創る主人公』

2026(R8)年4月24日
豊岡市立豊岡小学校 学校だより
No.2 児童数 297 名

～特別支援教育は学校教育の中心～

「支援のいない子は一人もいない」この考え方をもとにして、豊岡市の教育は進められています。教室の中にはいろいろな分かれ方、見え方、理解の仕方の子どもがいます。そのため、教員は、視覚を使って理解させたり、聴覚に働きかけ音声をうまく使いながら学習を進めたりしています。また、見通しが持てるように45分の流れを見えるように提示したり、時々立ったり座ったり体を動かすような場面を使うこともあります。子ども一人一人の実態を十分に把握して、全ての子どもが進んで学習活動に参加できるよう、授業をはじめとする教育活動の質を上げていこうとしています。

一方で、通常学級では一斉での指示や質問、説明、作業などがいまだ多くあります。そこで、一人一人のわかり方や、見え方、器用さなどを、授業を進めながら改善・克服していくことにも取り組んでいます。

「先生の指示を聴くことや書くこと、音読などが苦手で、それらのやり方を学び、克服できれば、もっと自信を持てるかもしれない。」

「不注意や衝動性、多動性などがあり、注意の向け方や見通しの持ち方などを身につけられたら、もっと集中して学習できるかもしれない。」

「気持ちの切り替えやコントロールの仕方を児童本人が身につければ、ストレスも少なく、日々の生活で活動がうまくやっていけるかもしれない。」

このように、学習に向かう段階で、苦手な部分や少し不器用さがあるなどのケースでは、「通級指導教室」で、専門性の高い教員から個別の指導を受けながら通常学級での学びにくさを改善していくこともできます。

～はばたき教室（通級指導教室）へのご理解を～

専門の教員が1対1の形態で、子どもに個別の指導をしているのがはばたき教室（通級指導教室）です。ここでは、一人一人の苦手や困難を軽減・克服するため、様々な自立活動に取り組みます。細かな指先の動きや体全体を使った運動でバランス能力を高めるトレーニング、注意の集中を高め自分なりの学び方を身につけるトレーニング、気持ちの切り替えやよりよいコミュニケーションを習得するなどのトレーニングに取り組みます。クラスの仲間たちも、はばたき教室で頑張っていることを理解し、送り出したり迎えたり、励ましたりできる温かい関係を築いてほしいと願っています。

「特別支援教育は、学校の中心にある。」豊岡小学校は、一人一人の違いを大切に、互いの良さや頑張りを認め合い、他者を理解し合う学校づくりを目指しています。特別支援教育およびはばたき教室への一層のご理解をお願いします。（裏面へ続く→）

～1年生の給食が始まっています～

1年生も給食の時間を楽しんでいます。少しゆとりを持った時間で、「みんなで食べるとおいしいな。」と思ってもらえるように慌てずゆっくりとスタートしました。食べることが大好きな子に育ちますように・・・。



うつわにいれるのが、むずかしいなあ。



みんな、じゅんばんをまもっているね。

【職員紹介】

兵庫型学習システム推進員として4月27日からお世話になります。
竹野学園前期課程から濱田優代先生にお越しいただきました。中学年を中心に、主に算数で指導補助としてお世話になります。どうぞよろしくお願いします。

連休中の『安全指導』をお願いします。

交通事故、不審者による声かけや連れ去り、盗撮やわいせつ事案等、子どもを取り巻く状況は心配なことばかりです。ゴールデンウィークは、交通量が増え、人の移動も多くなります。普段慣れている場所でも、安全の指導、自分を守る指導を具体的に、繰り返しお願いします。

- 1 飛び出しは絶対に禁止。信号が青でも、必ず自分の目で周囲の安全を確認める。自転車に乗る時は必ずヘルメットを正しく着用する。
- 2 人が少ない場所や薄暗い場所など、不審者被害にあう危険が高い場所に、行かない。
声をかけられたり連れて行かれそうになったりしたら、大声を出して助けを求め、すぐその場から離れる。
- 3 公衆トイレや施設のトイレなども、必ず家の人と一緒にいく。
- 4 怖い思い、いやな思いをした時は、すぐにおうちの人など信頼できる大人に知らせること。

※防犯ボランティアの皆さん、いつもありがとうございます。汗ばむ季節です。まだ体が暑さになれていません。熱中症にご注意ください。